

ごあいさつ

日頃、皆さまには格別のご愛顧をいただき、厚くお礼申し上げます。「よこしんレポート2023」をお届けします。

令和4年度の日本経済は、ウィズコロナの下、社会経済活動の正常化が進む一方で、ロシアによるウクライナ侵攻を背景とした国際的な原材料価格の上昇や、円安の影響などから、日常生活に密接なエネルギー・食品等の価格の上昇が続きました。当金庫の営業エリアを見ると、その中心である横浜市は、令和5年1月1日時点の推計人口が前年同期比で減少しました。市内の推計人口が戦後初めて減少した前年に続き、2年連続の減少です。

こうした中、当金庫は「このまちの未来をともにつくる～信用金庫の原点を忘れず、金融を超えた価値を提供し、笑顔あふれる地域づくりに貢献する～」という経営理念のもと、地域の事業者を徹底して応援する活動を展開しました。この活動では、事業者の資金繰り支援にとどまらず、外部機関との連携による販路拡大をはじめとする本業の支援にも取り組みました。

当金庫は令和5年7月に創立100周年を迎えます。100周年に向けたスローガンは、「ともに歩む、これまでもこれからも」です。これまで以上に地域から頼られ愛される地域金融機関を目指すとともに、笑顔あふれる地域づくりに貢献していくことをお約束します。

皆さまのより一層のご支援をいただければ幸いです。



理事長 大前 茂

令和5年6月

経営理念

このまちの未来をともにつくる

信用金庫の原点を忘れず、金融を超えた価値を提供し、笑顔あふれる地域づくりに貢献する大切にしたい思い・行動

- 広い視野を持ち、変化を恐れず積極的にチャレンジする
- 自分たちの仕事に誇りと自信を持ち、信頼される行動をとる
- 成長に向けて常に学習し、未来への責任を果たす
- 感謝を忘れず、相手の想いに真摯に向き合う
- 多様な価値観や新しい考えを尊重し、共に考動する

プロフィール

(令和5年3月31日現在)

創業 — 大正12年(1923年)7月19日

出資金 — 1,702百万円

預金積金 — 2,033,569百万円

貸出金 — 1,146,383百万円

役職員数 — 1,233人

本店 — 〒231-8466 横浜市中区尾上町2-16-1
電話 045-651-1451 (代表)

店舗数 — 61店舗

営業地区 — 神奈川県 横浜市/川崎市/横須賀市/鎌倉市/藤沢市/
茅ヶ崎市/逗子市/三浦市/相模原市/厚木市/大和市/
海老名市/座間市/綾瀬市/三浦郡/高座郡/
愛甲郡愛川町
東京都 大田区/町田市

シンボルマーク

横浜信用金庫を表わす「Y」を囲む3重の輪は、「地域社会」「顧客と会員」「役員とその家族」を意味しています。

お互いに支え合い、強い絆で結ばれ、地域金融機関として限らない前進を図っていきたいという願いが込められています。

